

# インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎  
TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

## マイコプラズマ核酸検出(LAMP法) の採取方法につきまして

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、本年は例年に比べ、全国的にマイコプラズマ感染症が増加傾向にある事から、弊社では、高感度の核酸増幅検査法を用いた検査項目「マイコプラズマ核酸検出(LAMP法)」のご依頼も増加しております。こちらの項目は、菌の特性上、採取方法が重要となりますので、詳細につきまして次のとおりご案内させていただきます。

マイコプラズマ核酸検出(LAMP法)は、検査材料を咽頭擦過物としておりますが、採取方法は「口腔から採取する方法と、鼻腔から採取する2方法」がございます。

いずれも上気道、又は咽頭後壁を擦過頂く事から、検査結果に大きな影響はございませんので、患者様に応じていずれかでの採取をお願い致します。

しかしながら、当該擦過箇所マイコプラズマ菌は少ない菌量しか存在しない為、核酸増幅検査といえども擦過の強弱が検査結果に影響を及ぼす場合がございます。

この為、試薬販売元からの採取方法見本を裏面に記載させていただきますので、ご確認のほど宜しく願い致します。

検査精度の向上を期する為、何卒、ご理解ご了承のほど宜しく願申し上げます。

謹 白



# マイコプラズマ検査における 咽頭拭い液及び鼻咽頭拭い液の採り方

マイコプラズマは、飛沫に乗って喉頭蓋より下の下気道に分布する繊毛上皮に接着することで感染が成立し、増殖を開始します。すなわちマイコプラズマの増殖には繊毛上皮が必要であり、上気道で活発に増殖しているわけではありません。上気道に存在する菌体はあくまでも下気道から咳や痰などによりせり上がってきたものであり、上気道には下気道の100分の1以下の少ない菌量しか存在していません。つまり、検査を行う上で、検体の採取は非常に重要になります。

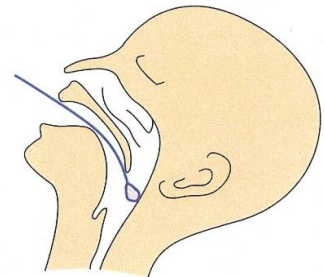
## 採取の際の姿勢

成人・年長児は座位で、乳幼児は保護者が座位でしっかり抱っこして、固定します。はじめにしっかりと固定することが、苦痛を最小にします。

## 咽頭拭い液の採り方

※採取綿棒は、木軸以外の軸がしっかりしたもの（プラ軸）が採取に適しています。

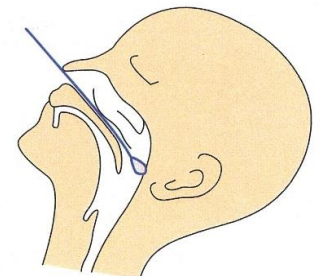
- ①口を大きく開け、患者に「アー」と発声させます。
- ②指定の綿棒を用いて、扁桃腺の裏側部分あるいは咽頭の後壁などを強くこすり採ります。
- ③綿棒を容器に入れて蓋をしっかり閉め、できるだけ速やかに提出してください。



## 鼻咽頭拭い液の採り方

※採取綿棒は、軸がしなやかなもの（アルミ軸またはプラ軸）が採取に適しています。

- ①指定の綿棒を鼻腔から口蓋と平行になるように挿入します。
- ②行き止まりになる最奥部の咽頭の後壁を適宜強くこすり採ります。
- ③綿棒を容器に入れて蓋をしっかり閉め、できるだけ速やかに提出してください。



監修：医療法人徳洲会札幌徳洲会病院 小児科医長 成田光生 先生



栄研化学株式会社  
〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木 143番地

8113 AK3MK  
2013年12月作成